



FURUTECH/ コンセントプレート「106-D NCF」モニターレポート

永瀬知之さん(岐阜県)

いつも貴紙を楽しく拝読させて頂いております。この度Audio Accessory 177号でFURUTECHのコンセントプレート「106-D NCF」を当選させて頂き、ありがとうございました！

初めて買った壁コンや電源タップのコンセントもフルテック製で、その際にステンレス製コンセントプレートを使用したことがきっかけでアクセサリーに興味湧き、コンセントプレートも度々交換して参りました。

最初に交換したj1 projectのコンセントプレートは、まるでプレートを使用していない様な開放的なサウンドが大変気に入りました。次にタップのコンセントをオーグライン製に交換した際に、コンセントプレートもステンレス製で振動を抑えた塗装を施したものに交換しました。その結果、音の背景は静かになりましたが、低域が抑えられた印象がありました。

しかしこれらの感想は、プレートを3個使用して組み合わせた時のサウンドであって、実際は「どのプレートが、どのように作用しているのか」は私には区別が付きませんでした。また、音質も以前より良くなったかな?と言う程度で、少し感じていたデメリットも他の要因かと思ひ、実はコンセントプレートに興味に向かなくなっておりました。

そして、今回FURUTECHの106-D NCFを使用してみました。結論から言うと壁コン、もしくはタップのソース側、アンプ側のどこに使っても大きな変化を感じました。色々試して最終的にはタップのソース側に使っていますが、その効果はアラを探す事が出来ないくらい完璧と言って良いのではないかと思います。ノイズが減り、生の空気感が出て、楽器も見えるように鳴りはじめました。全体的に一気に生々しさが出て、楽器の質感がリアルになったとしか言いようがありません。ホールの響きやロックのドラムやエレキの音が、聴いていてとても気持ちよくなります。長年プレートのデメリットかなと思っていた低域の緩さ、量感・解像度の違和感も今回解消されました。私の環境では、コンセントプレートの変更で間違いなく良い効果があったと言い切れるのは今回が初めてでした。

尚、この後106-D NCFを最初の付属のステンレス製に替えてみました



写真の上が、「106-D NCF」

が、全く比較にならない差があった事も報告させて頂きます。今回の大きな変化は、コンセントプレートの交換でなければ成し得なかったでしょう。

最後にもう一度、今回のモニターレポートに当選させて頂いて、本当にありがとうございました。コロナ禍ではありますが、皆さん健康にお気を付けて、読者に愛されるAudio Accessoryを送り出して頂きますよう期待しております。